



2025年7月期 通期決算説明資料

株式会社アクシージア

[東証スタンダード : 4936]

2025年9月12日

AXZIA

◇ 目次

- 01 | エグゼクティブ・サマリー
- 02 | 業績ハイライト(2025年7月期)
- 03 | 販売チャネル別の状況
- 04 | ブランド別の概況
- 05 | 2026年7月期業績予想
- 06 | Appendix

1. エグゼクティブ・サマリー

Executive Summary

AXXZIA

2025/7期
連結
実績

売上高 **134.7億円** (前期比 +10.6%) (計画比※ +1.5%)

営業利益 **5.5億円** (前期比 -39.2%) (計画比※ +26.8%)

- 売上高については、**過去最高**を更新。
- 営業利益については、エムアンドディ社連結に伴う原価率悪化をカバーできず、前期を下回って着地。

2026/7期
連結
計画

売上高 **144.0億円** (前期比 +7.1%)

営業利益 **5.7億円** (前期比 +2.2%)

- 地域ポートフォリオの偏りの改善を引き続き推進、**日本売上拡大に注力**。
- 中国ECにて**支払手数料の統制**を図る一方、**日本における広告投資を強化**するため、営業利益率は2025年7月期と同水準を見込む。

中長期計画(業績数値及び経営戦略)については
2025年10月9日に開示予定です。

なお、今般の米国の関税措置については、**当社事業への影響は軽微**なものであると認識しております。

2. 業績ハイライト(2025年7月期)

Business Results: Highlights

AXXZIA

売上・利益の状況（2025年7月期 連結）

売上高は、連結ベースで**+10.6%**の増収を達成。

中国売上が前期並で着地した一方、**日本売上が前期比約2倍に成長**。

営業利益は、エムアンドディ社連結による原価率悪化等の影響で、前期比マイナス。

（単位：百万円）

	2024/7期	2025/7期	前期比	2025年6月公表 業績予想比
売上高	12,192	13,479	+1,287 (+10.6%)	+198 (+1.5%)
営業利益	918	557	-360 (-39.2%)	+117 (+26.8%)
営業利益率	7.5%	4.1%	-3.4pt	+0.8pt
経常利益	1,122	548	-573 (-51.1%)	+208 (+61.4%)
当期純利益	794	354	-440 (-55.4%)	+214 (+153.1%)
1株当たり純利益 (EPS)	32.06円	15.18円	-16.88円	+9.06円

原価率が高いエムアンドディ社が通期で連結対象となったことにより、売上原価率は5.3pt悪化。販管費については、本社とエムアンドディ社の従業員数増加により人件費が上昇したものの、**自社ライブ販売の強化**等による支払手数料の統制が奏功し、**売上高販管費率は1.9pt改善**。

(単位:百万円)

	2024/7期		2025/7期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増減率
売上高	12,192	100.0%	13,479	100.0%	+1,287	-
売上原価	2,581	21.2%	3,561	26.4%	+979	+5.3pt
販売費及び一般管理費	8,692	71.3%	9,360	69.4%	+668	-1.9pt
(人件費)	1,494	12.3%	1,792	13.3%	+297	+1.0pt
(広告宣伝費)	3,134	25.7%	3,466	25.7%	+332	+0.0pt
(支払手数料)	2,170	17.8%	2,025	15.0%	-145	-2.8pt
営業利益	918	7.5%	557	4.1%	-360	-3.4pt

バランスシートの状況 (2025年7月期 連結)

現預金が前期末比938百万円減少。株主還元(年2回の配当及び自社株買い)実施が主要因。
株主への利益還元は継続的に実施。2025年7月期の配当性向は65.9%を見込む。

(単位:百万円)

		2024年7月期末	2025年7月期末	対前期末増減
		金額	金額	金額
流動資産		8,631	7,578	-1,053
(現預金)		4,928	3,990	-938
固定資産		1,911	2,022	+110
資産合計		10,543	9,600	-943
流動負債		1,684	1,727	+42
固定負債		321	264	-57
負債合計		2,006	1,991	-14
(有利子負債)		975	860	-114
純資産合計		8,536	7,608	-928
(利益剰余金)		4,776	4,054	-722
(自己株式)		-655	-838	-182
負債・純資産合計		10,543	9,600	-943

- ・ 期末配当金の支払い (-244百万円)
- ・ 中間配当金の支払い (-114百万円)
- ・ 自己株式の消却 (-718百万円)

- ・ 自己株式の取得 (-901百万円)
- ・ 自己株式の消却 (+718百万円)

3. 販売チャネル別の状況

Status by Sales Channel

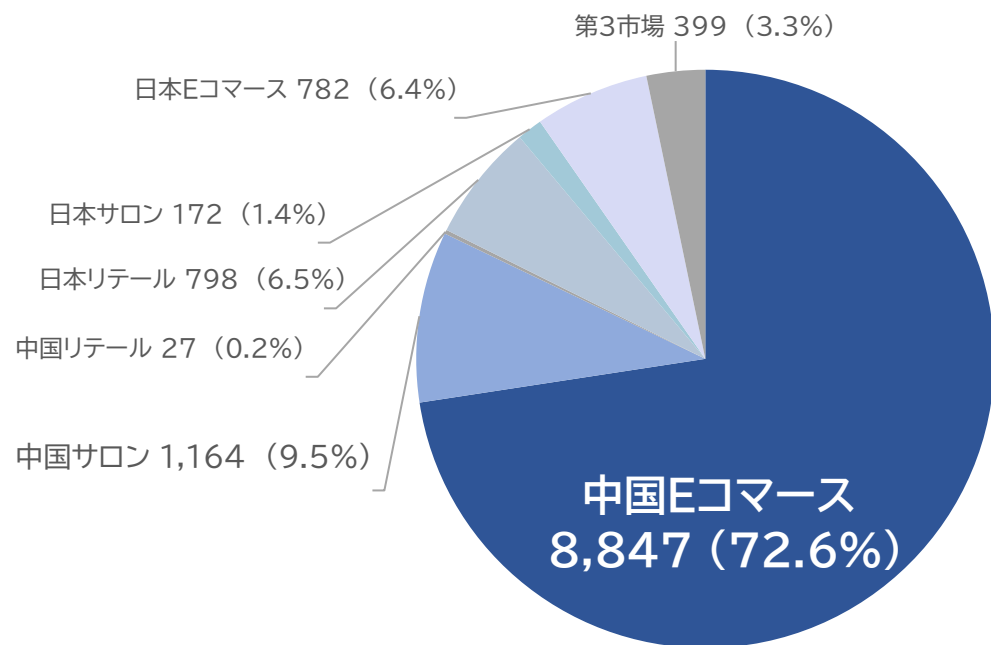
AXXZIA

地域別・チャネル別 売上高 (2025年7月期 連結)

中国売上が前期並となった一方、エムアンドディ社の売上が通期で寄与したこと等の影響で、日本売上は前期比**約2倍**に拡大。前期より推進している**地域ポートフォリオの偏り改善**が着実に進行。

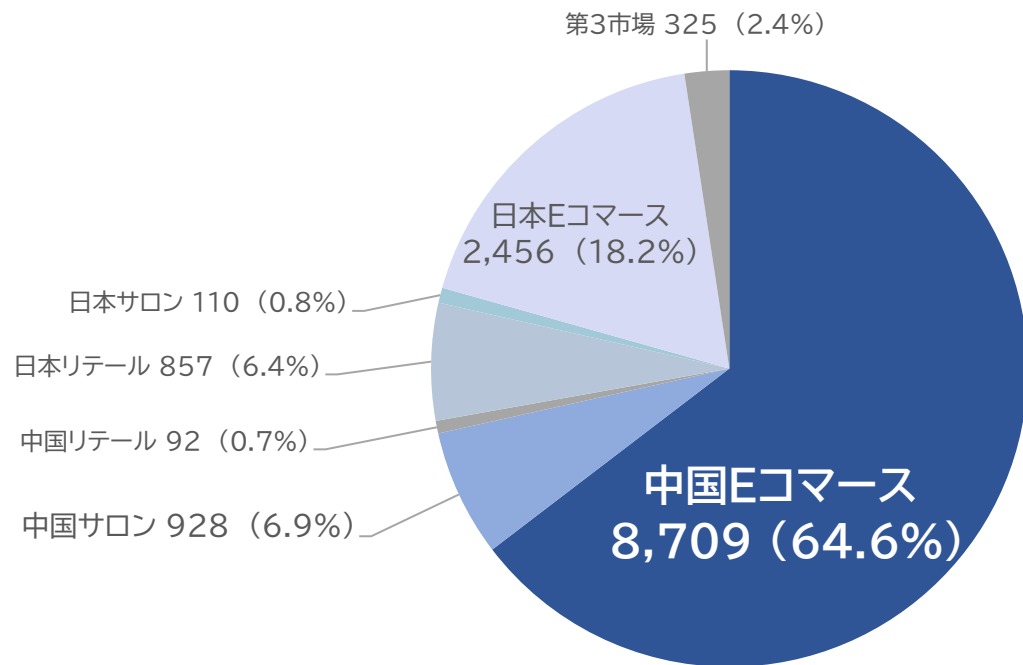
■ 中国売上高※	97億円	(構成比 82.3% → 72.2%)	前期比 -3.1%
■ 日本・第3市場売上高※	37億円	(構成比 17.7% → 27.8%)	前期比 +74.1%

2024年7月期



(単位:百万円)

2025年7月期

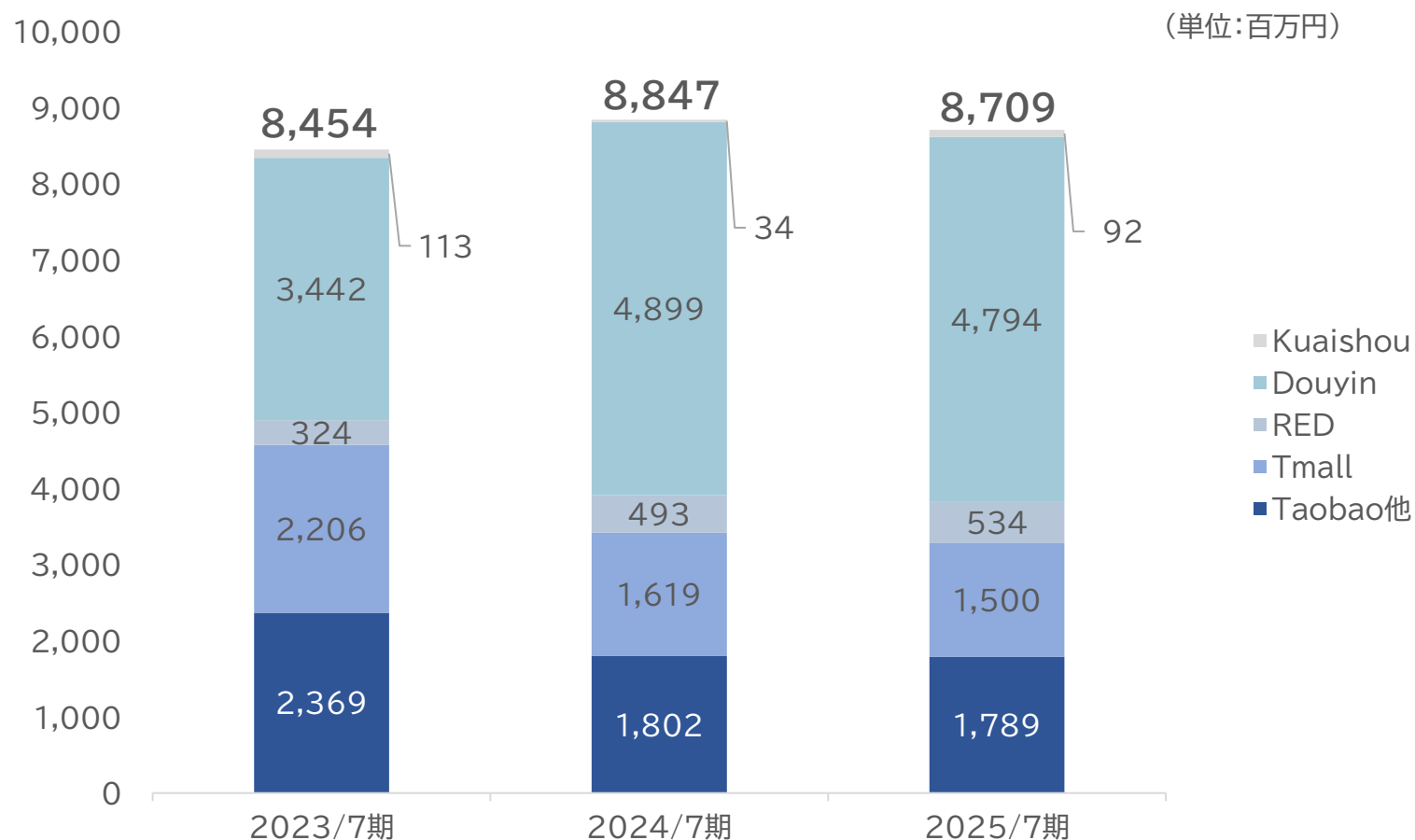


(単位:百万円)

※ 中国売上高および日本・第3市場売上高はEコマース、サロン、リテール合算の売上高

中国EC売上高推移（2025年7月期 連結）

中国市場にて厳しい事業環境が続く中、当社の中国EC売上はほぼ**前期並**で着地。
主力チャネル「Douyin」にて、主力製品であるAGドリンクが売上低調となったものの、販売強化中の**AGセオリー化粧品**が順調に売上拡大、AGドリンクの減収分をカバー。Douyin売上も前期並を達成。

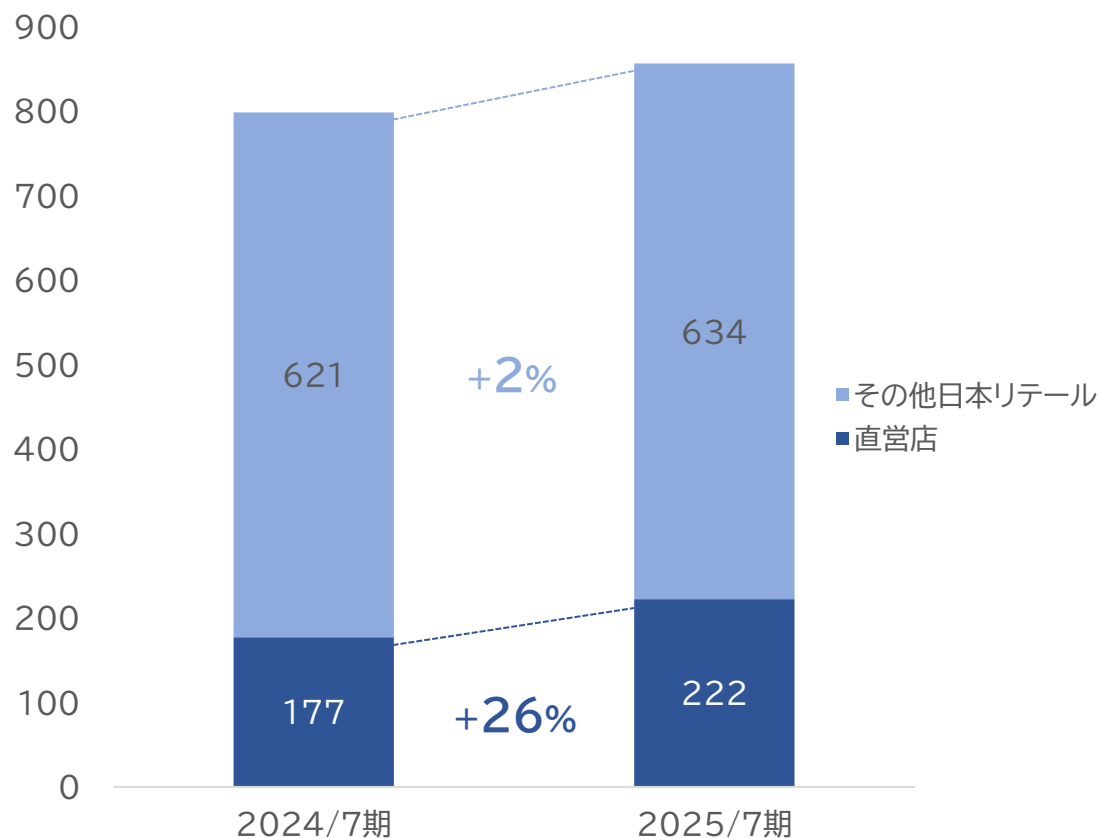


日本国内事業の状況（2025年7月期 連結）

日本リテールについては、**インバウンド需要取り込み施策が奏功**し、直営店売上は順調に拡大。
日本ECは、SNSを中心としたインフルエンサーマーケティングによる**美容家電販売強化**等により、
エムアンドディ社を除いた**オーガニックなEC売上※**についても前期比**+76%**を達成。

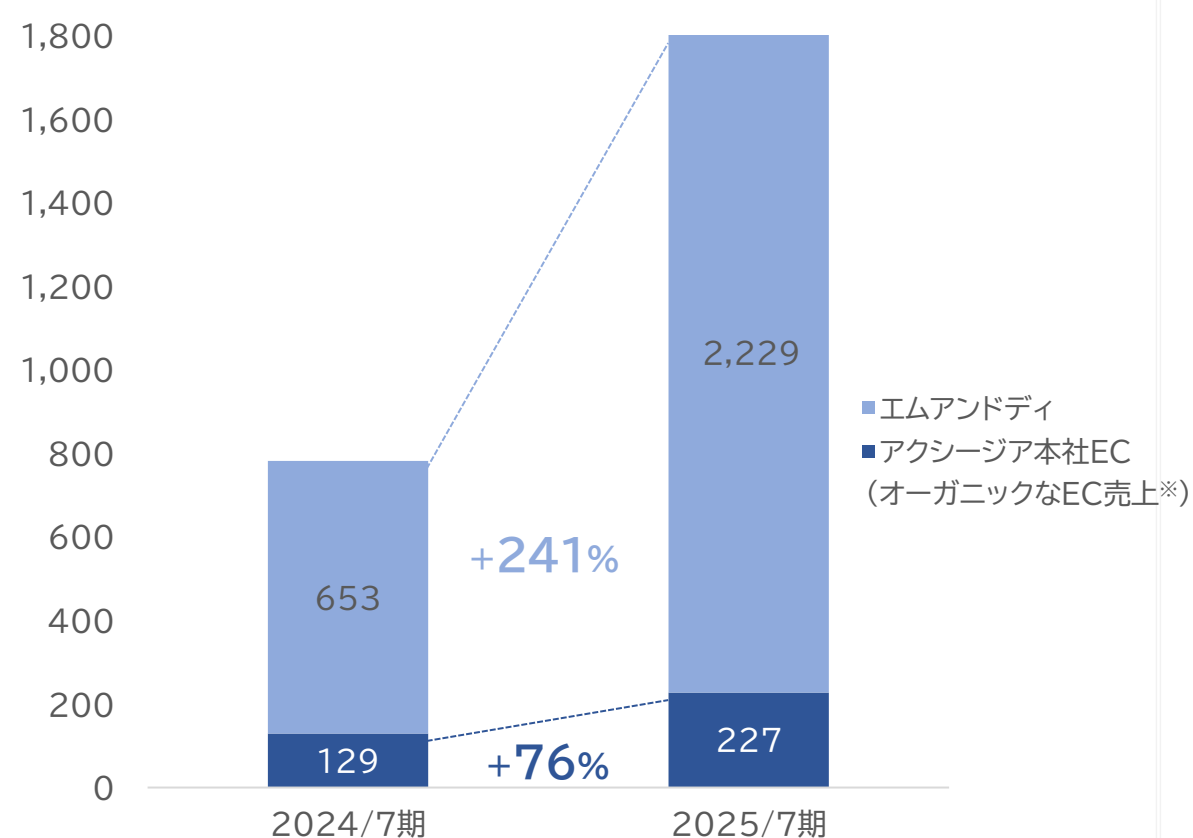
日本リテール売上高推移

(単位:百万円)



日本EC売上高推移

(単位:百万円)



※ 2024年2月に子会社化したエムアンドディ社の売上を除いた日本EC売上のこと

4. ブランド別の概況

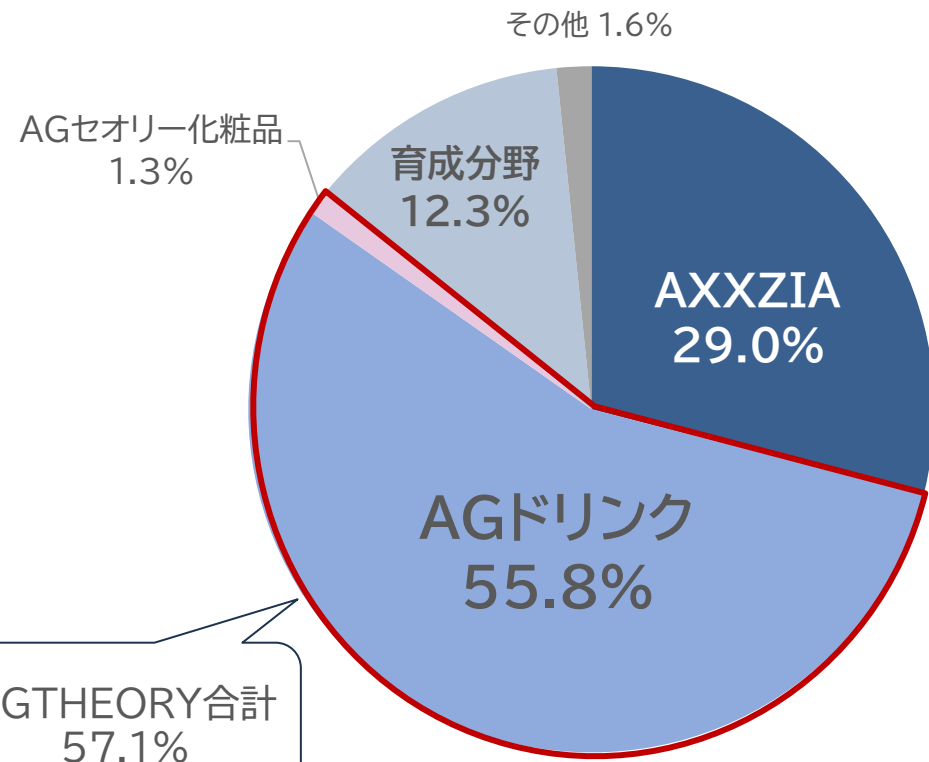
Overview by Brand

AXXZIA

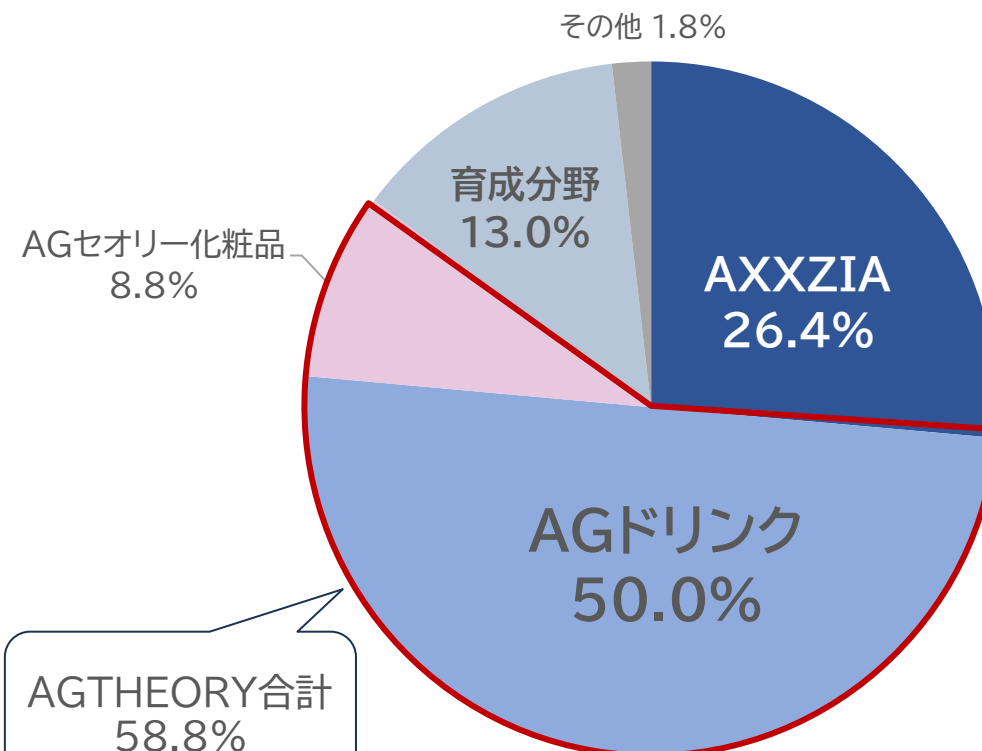
ブランド別 売上構成（2025年7月期）

販売強化中の**AGセオリー化粧品**、**育成分野**が順調に売上拡大。
主力製品の売上構成比が減少し、製品ポートフォリオの偏りが着実に改善。

2024年7月期

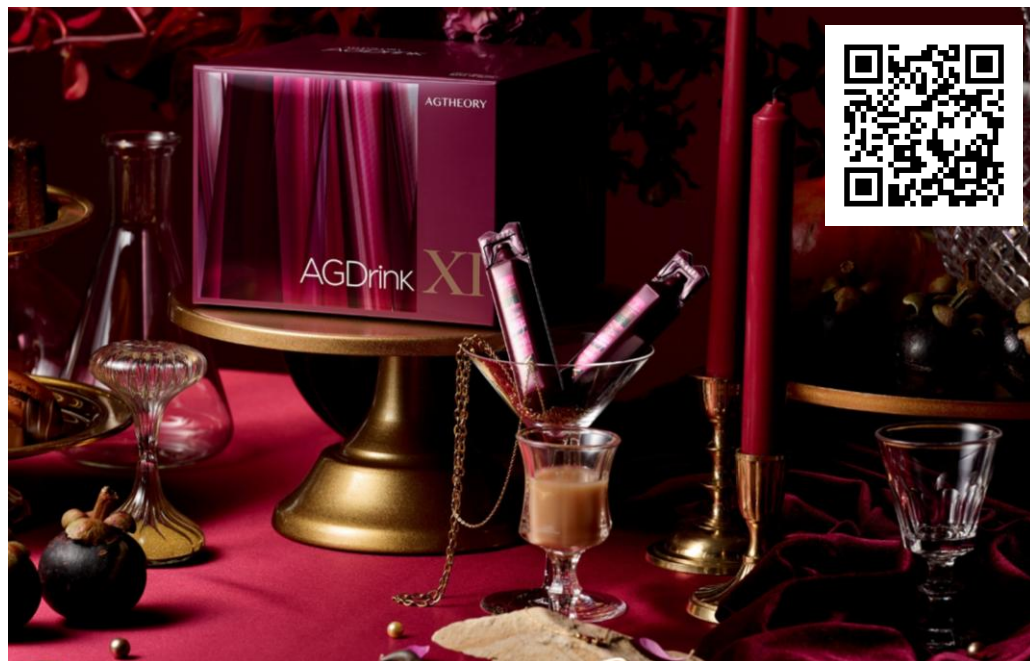


2025年7月期



AGセオリー化粧品の伸長により、ブランド全体で増収を達成。

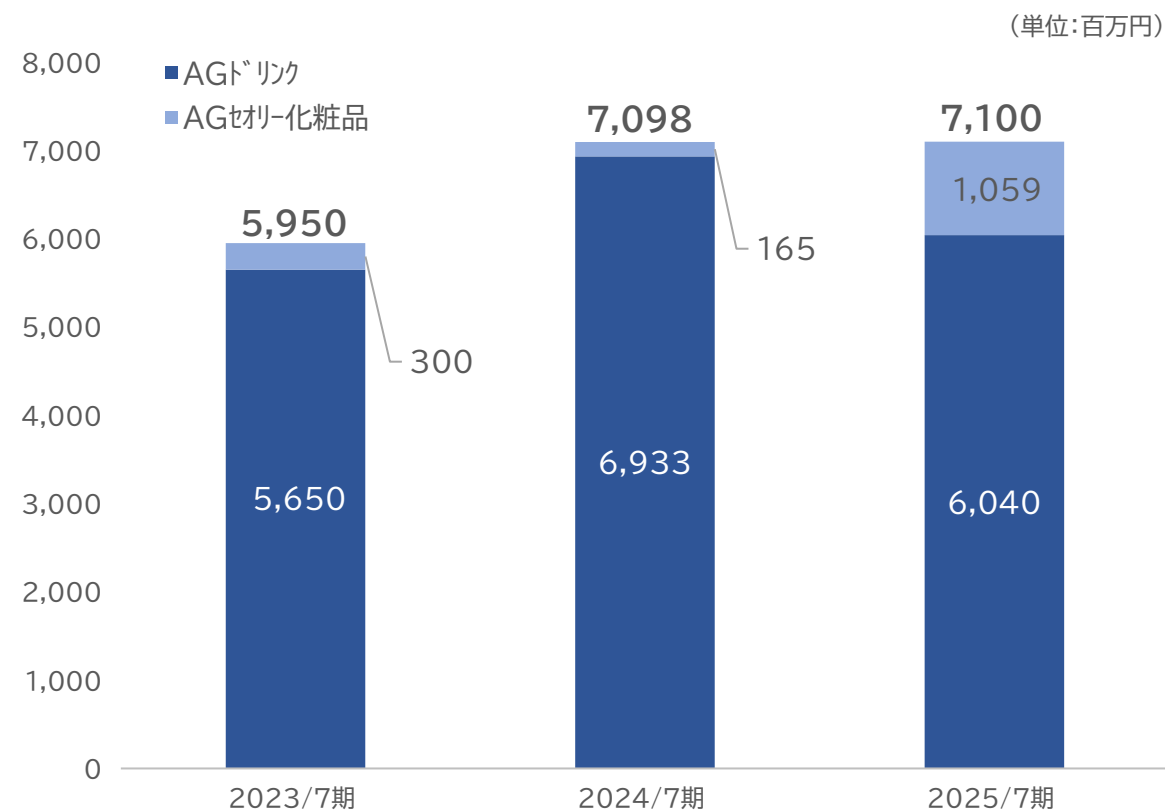
AGドリンクは通期では減収も、リニューアルが奏功し、前期4QとのYοYでは前年同期比プラスを達成。



持続的成長への布石

- 2024年6月「AGドリンクX」とリンクする成分を配合し、スキンケアラインをフルリニューアル。
- 2025年4月 AGドリンクを「AGドリンクXI」としてリニューアル、新たな成分を加え、ブランド史上最高レシピとして再構築。

エイジーセオリー ブランド売上推移



※ 上記売上高は、アクシージア単体出荷ベースの売上高集計

【主力ブランド2】AXXZIA(アクシージア) (2025年7月期)

AXXZIA

中国において、エッセンスシートをはじめとしたアクシージアブランド全体が伸び悩み。
一方日本においては、エッセンスシートと目もと用美顔器の**セット販売により販売強化中。**

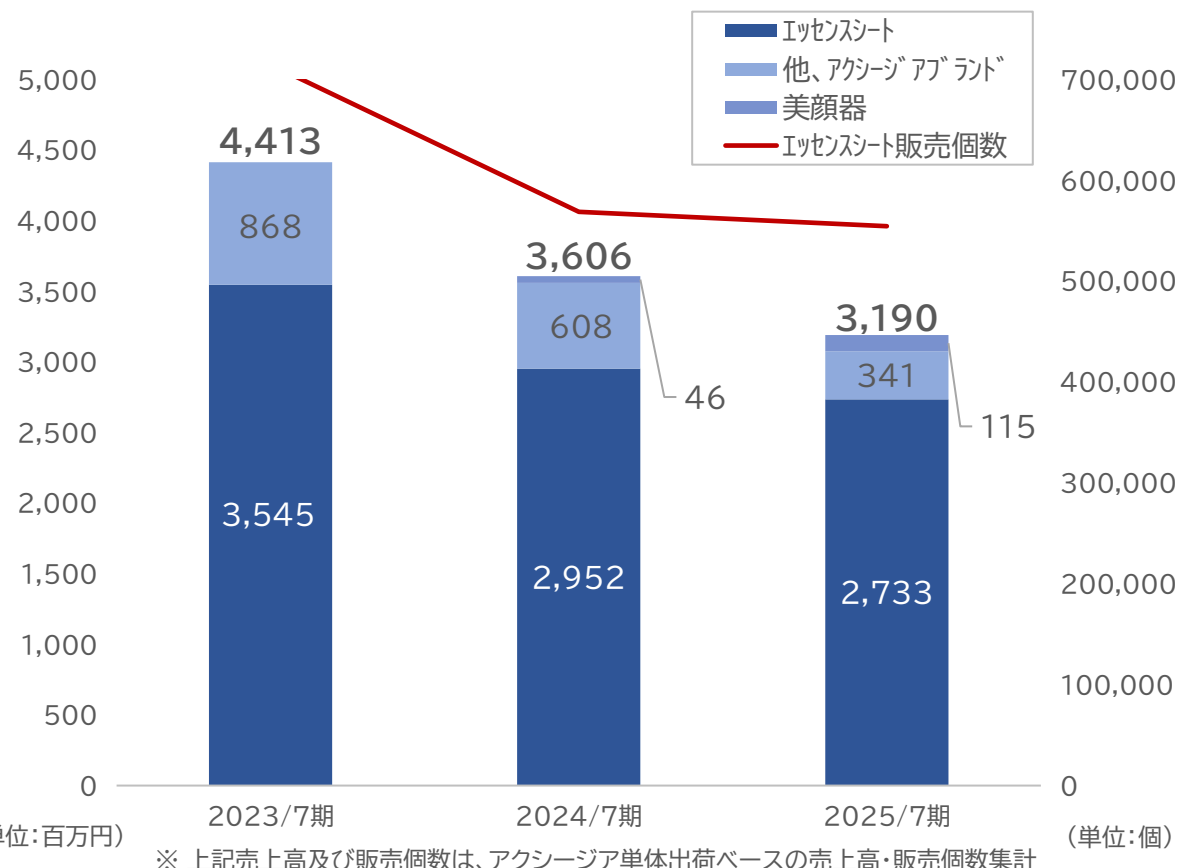


↑ アクシージア メイト フォーアイズ(目もと用美顔器)

持続的成長への布石

- エッセンスシートを軸にシリーズ製品への展開。
- 2023年9月 目もとシートを初リニューアル。
「エッセンスシート プラス」「エッセンスシート プレミアム プラス」として上市。
- 2024年4月 目もと用美顔器「アクシージア メイト フォーアイズ」をリニューアル。

アクシージア ブランド売上推移 及び エッセンスシート販売個数推移



育成分野については、堅調に推移。9月には**中価格帯インナーケア製品**「PQドリンク プラス」を上市。積極的に広告投下し売上拡大を図る。



↑ ヴィーナスレシピ ザ ピュア ドリンク



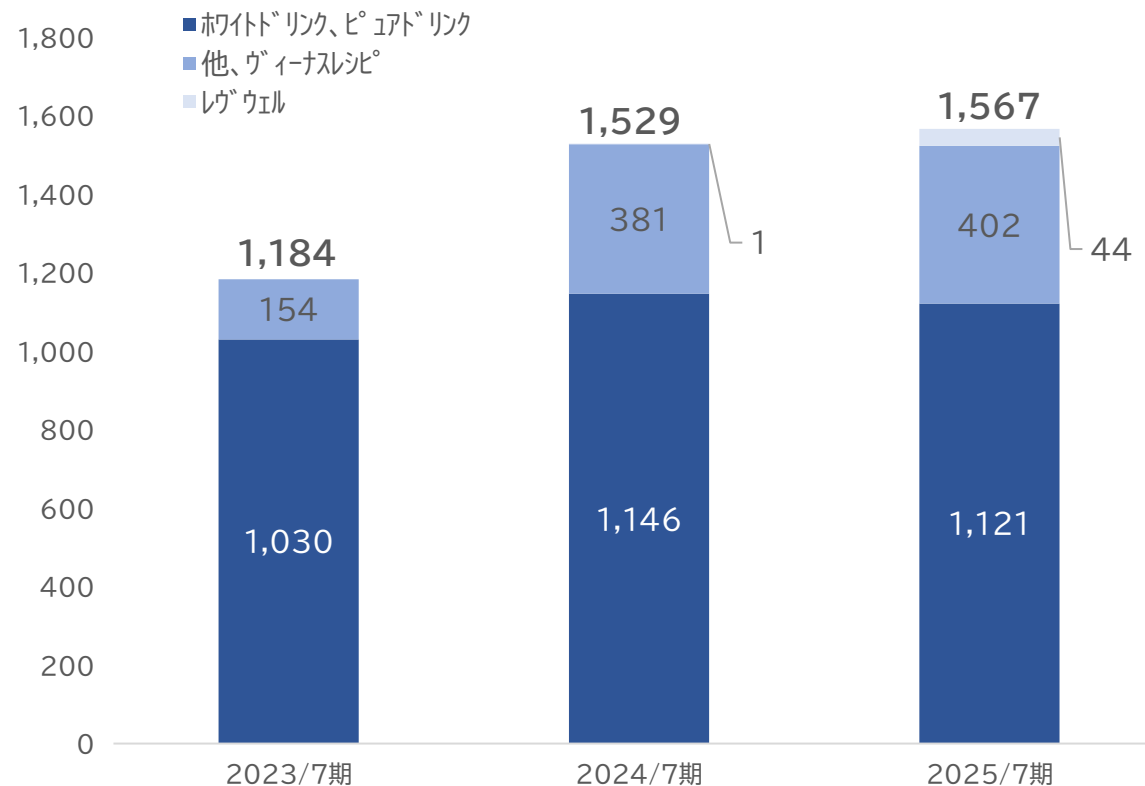
↑ ヴィーナスレシピ PQドリンク プラス

主力シリーズへの布石

- ザ ホワイト ドリンクが当社初の機能性表示食品として販売可能に。
- 2024年6月 アクシージア初のウェルネスブランドとして「レヴウェル」を上市。
- 2025年2月「ザ ホワイト ドリンク」をリニューアル、「ザ ピュア ドリンク」発売。
- 2025年9月「PQリキッド」をリニューアル、「PQドリンク プラス」発売。

育成分野 売上推移

（単位：百万円）



※ 上記売上高は、アクシージア単体出荷ベースの売上高集計

5. 2026年7月期業績予想

Forecast for FY07/26

AXXZIA

【売上・利益】2026年7月期業績予想

A X X Z I A

メイン市場である中国のみならず、日本においても売上拡大を目指し、連結で**+7.1%の増収**を計画。中国において広告宣伝費・支払手数料の統制を強化する一方で、日本事業への広告投資を強化。従って、**営業利益率は2025年7月期と同水準**となる見込み。

(単位:百万円)

	2025/7期 実績	2026/7期 計画	前期比
売上高	13,479	14,440	+961(+7.1%)
営業利益	557	570	+12(+2.2%)
営業利益率	4.1%	3.9%	-0.2pt
経常利益	548	560	+11(+2.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	354	370	+15(+4.4%)
1株当たり純利益 (EPS)	15.18円	16.23円	+1.05円

【地域別売上】2026年7月期業績予想

A X X Z I A

中国がメイン市場であることに変わりはないものの、更なる**地域ポートフォリオの偏り改善**に向け、**日本売上拡大に注力**。日本全体で前期比**+11.9%**を目指す。

(単位:百万円)

	2025/7期 実績	2026/7期 計画	前期比
売上高	13,479	14,440	+7.1%
中国 (売上比)	9,730 (72.2%)	10,190 (70.6%)	+4.7% (-1.6pt)
日本 (売上比)	3,423 (25.4%)	3,832 (26.5%)	+11.9% (+1.1pt)
その他地域 (売上比)	325 (2.4%)	417 (2.9%)	+28.5% (+0.5pt)

主力3製品の売上回復を図りつつ、第4、第5の柱となる製品を育成。
製品ポートフォリオの多様化を推進し、主力3製品への依存度低減を図る。

主力3製品の安定的な成長

- 主力3製品(**AGドリンク**、**エッセンスシート**、**ザ ピュア ドリンク**)に著名人をアンバサダーとして起用し、ブランド力の向上を図る
- トップ～ミドルインフルエンサーを効率よく活用したライブ販売の実施

第4、第5の柱となる製品の育成

- 第4、第5の柱候補(**AGセオリー化粧品**、**PQドリンク プラス**等)を育成、売上拡大を目指す
- ミドル～マイクロインフルエンサーによるSNS(RED等)へのPR投稿、露出を増加
- 自社ライブとインフルエンサーライブの両軸による販売

新規顧客の獲得

- **中価格帯**の新製品を上市し、従来のターゲットであるアッパー層からミドル層へと顧客層を拡大

広告投資を強化し、**成長を加速**。2025年7月期の日本向け広告宣伝費実績比**約1.5倍**の額を投下予定。
タッチポイントの拡充により、**認知度拡大**とともに**売上拡大**を図る。
製品については、新たに**低～中価格帯製品(リスブラン)**を日本向け戦略製品と位置づけ、販売強化。

タッチポイントの拡充

オフライン



- **バラエティショップ**(@cosme等)の取り扱い店舗数増加
- **直営店**への館顧客の取り込み(百貨店アプリの活用等)

オンライン



- SNSにてインフルエンサーとのタイアップ、ライブ販売等を実施
↓ 自社ECへの誘導
- サブスクモデルの導入等、LTV向上に向け**CRM**を強化



日本向け戦略製品の販売強化

LisBranc(リスブラン)^{※1}



- 「**低～中価格帯×敏感肌^{※2}ケア**」のスキンケアシリーズ
- 日本における敏感肌化粧品の需要拡大に着目

エッセンスシート メイトフォーアイズ



- 目もと用シートマスクと目もと用美顔器のセット

※1 子会社ユイット・ラボラトリーズにてロングセラーを誇るブランド。2024年2月にアクシージア・ブランドとしてフルライン7製品を新たに上市。

※2 季節の変わり目などに変化を感じる事。

【子会社】グループシナジーの創出

エムアンドディ社より、初の自社ブランド「**BELLE BAI(ベルバイ)**」ローンチ。アクシージアにて研究開発、ユイット社にて製造したフレグランス5種を、エムアンドディ社の販路にて2025年10月発売予定。エムアンドディ社従来の仕入化粧品販売モデルから、ビジネスモデルの変革を推進。**利益率向上を図る。**



アクシージア



研究開発

エムアンドディ



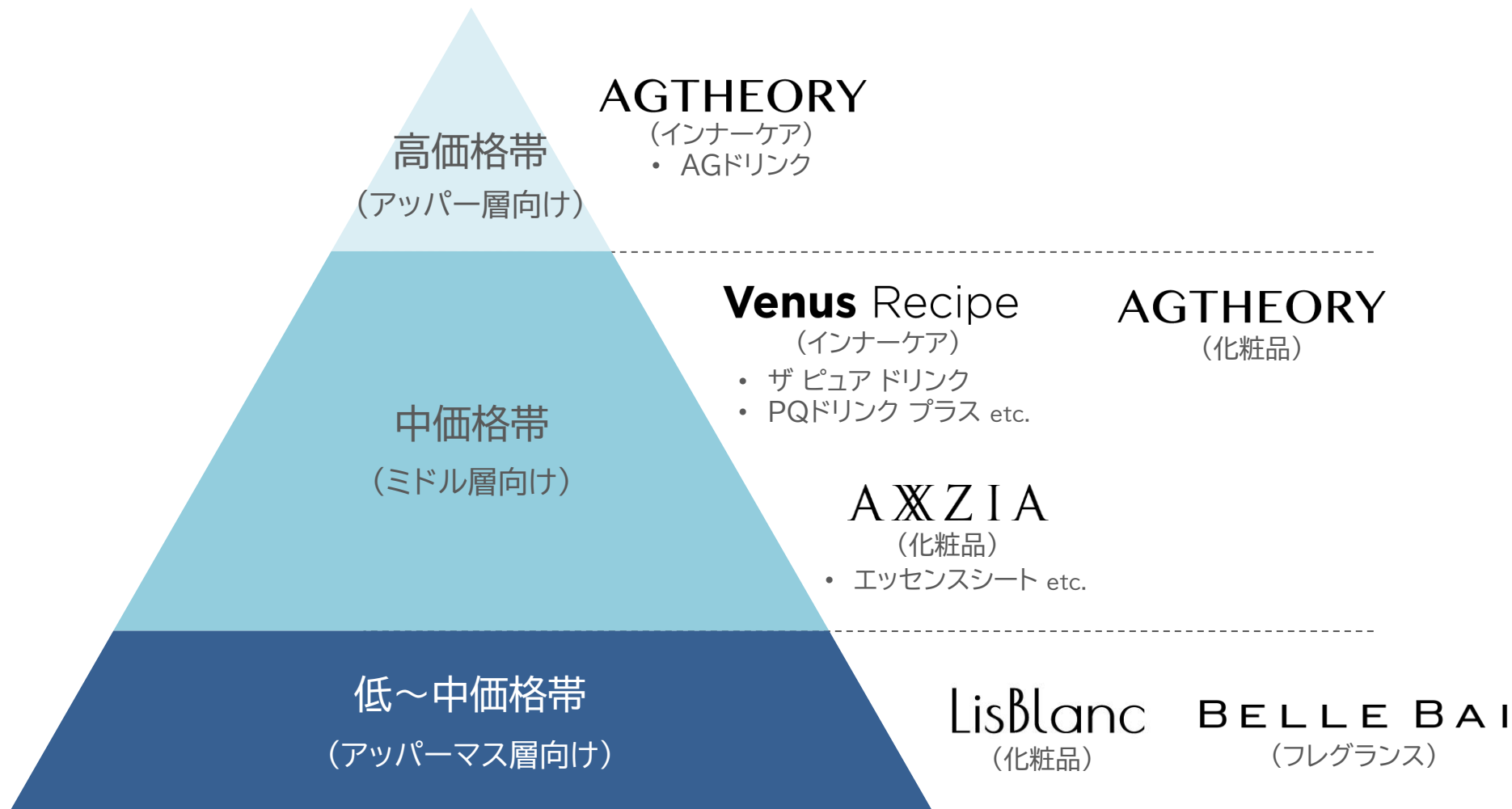
販売

ユイット



製造

中国市場向けには中～高価格帯のインナーケア及び化粧品を主軸とすることでミドル～アッパー層を、
日本市場向けには低～中価格帯の化粧品を主軸とすることでアッパーマス～ミドル層の開拓を狙う。





6. Appendix

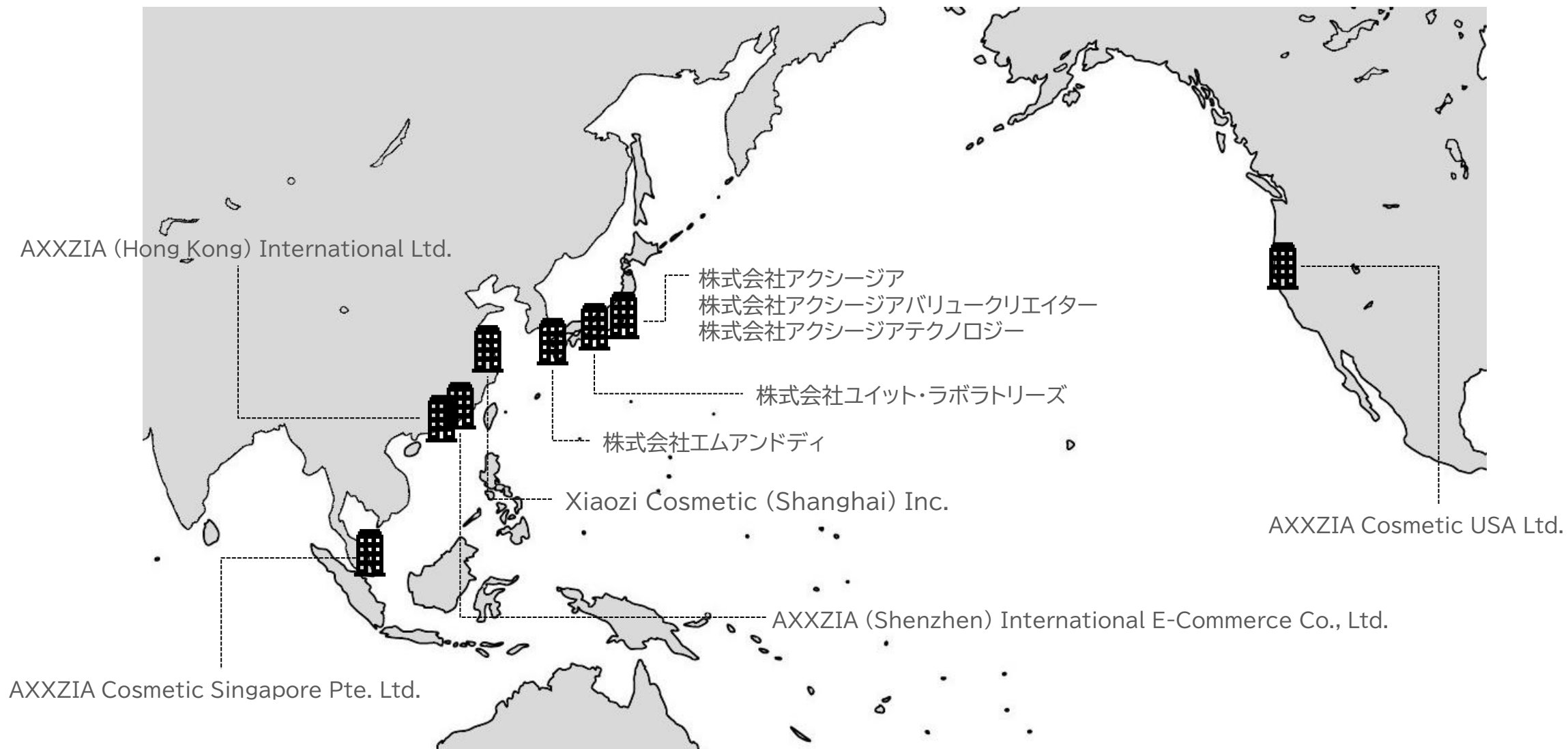
Appendix

AxxZIA

A X X Z I A

女性の染色体XXを美の象徴と位置づけ、
アジア(ASIA⇒AZIA)の美を日本から世界へ発信する
総合ビューティーソリューションカンパニーを目指します。

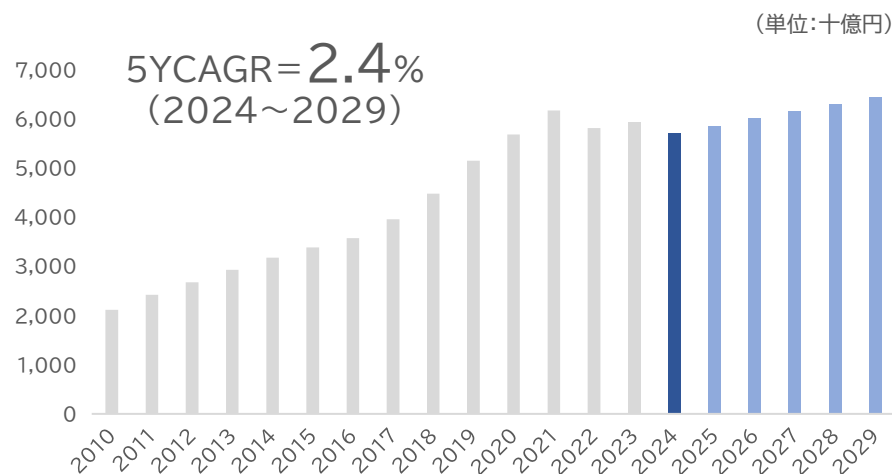
会社名	株式会社アクシージア
代表者	代表取締役社長 段 卓
設立	2011年12月21日
資本金	2,155百万円(2025年7月末現在)
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル35階
事業所	東京本社、大阪営業所、福岡営業所
事業内容	化粧品企画、製造、販売、卸
公開市場	東証スタンダード(証券コード:4936)
役員	代表取締役社長 段 卓 取締役副社長 段 暁維 常務取締役 武 君 常務取締役 張 輝 取締役 福井 康人 社外取締役 荒川 雄二郎 社外取締役 伊藤 潤一 社外取締役 下森 右子 監査役 宮島 正裕 社外監査役 清水 健次 社外監査役 奥田 都修



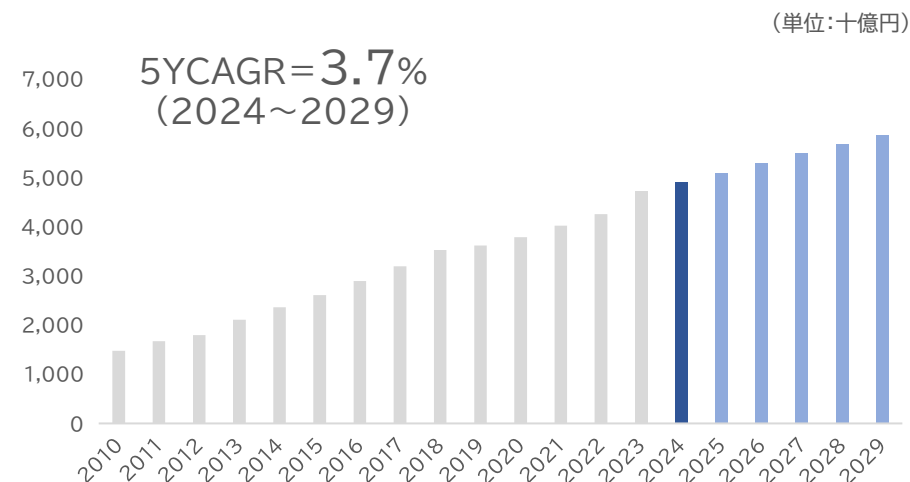
年 月	事 項
2011年	東京都新宿区西新宿一丁目にてオリエンティナ化粧品株式会社を設立(資本金9百万円) 美容施設向け化粧品開発・製造に着手
2012年	社名をオリエンティナ化粧品株式会社より株式会社アクシージアへ変更
2013年	美容施設向けスキンケアブランド「ルシエル ド ローブ」を上市
2016年	小売市場向け目もとケア・スキンケアブランド「ビューティー アイズ」を上市 小売市場向けサプリメントブランド「ヴィーナス レシピ」を上市
2018年	Xiaozi Cosmetic (Shanghai) Inc.を連結子会社として設立
2019年	中国大手ECプラットフォーム「RED(小紅書)」、「Tmall Global(天猫国際)」にアクシージア旗艦店を出店 小売市場向けスキンケアブランド「エイジーセオリー」を上市
2021年	東京証券取引所マザーズ市場に上場 美容施設向けスキンケアブランド「ザ ビー プロ」を上市 初の直営店舗「AXXZIA GINZA SIX店」をオープン リテール向けスキンケアブランド「リスビュー」を上市 中国大手モバイルビデオアプリ「抖音(Douyin/TikTok)」にアクシージア旗艦店を出店 中国大手Eコマースプラットフォーム「京東(JD.com)」にアクシージア旗艦店を出店
2022年	株式会社ユイット・ラボラトリーズを完全子会社化 中国大手モバイルビデオアプリ「快手(Kuaishou)」にアクシージア旗艦店を出店
2023年	東京証券取引所グロース市場からプライム市場へ上場市場区分変更 株式会社アクシージアバリュークリエイターを連結子会社として設立 AXXZIA Cosmetic Singapore Pte. Ltd.を連結子会社として設立
2024年	株式会社エムアンドディを完全子会社化 AXXZIA Cosmetic USA Ltd.を連結子会社として設立 株式会社アクシージアテクノロジーを連結子会社として設立 AXXZIA (Shenzhen) International E-Commerce Co., Ltd.を連結子会社として設立
2025年	東京証券取引所プライム市場からスタンダード市場へ上場市場区分変更

【市場環境1】スキンケア・サプリメント市場

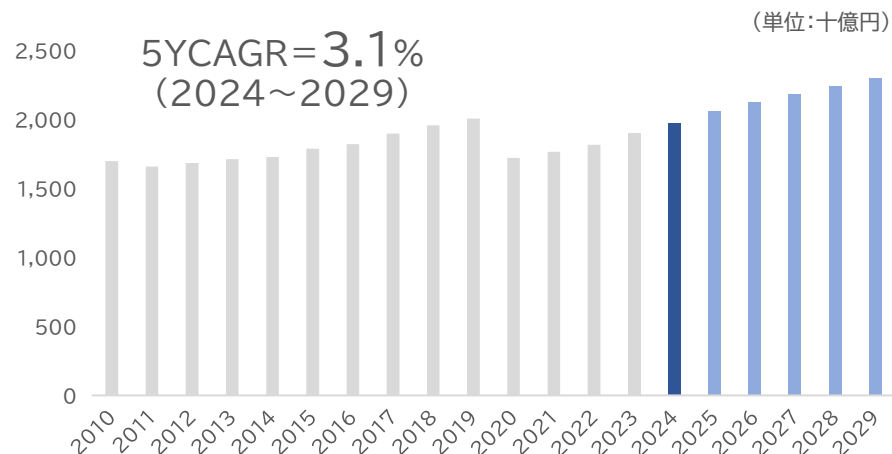
中国のスキンケア市場規模 5兆7,043億円(2024年小売額)



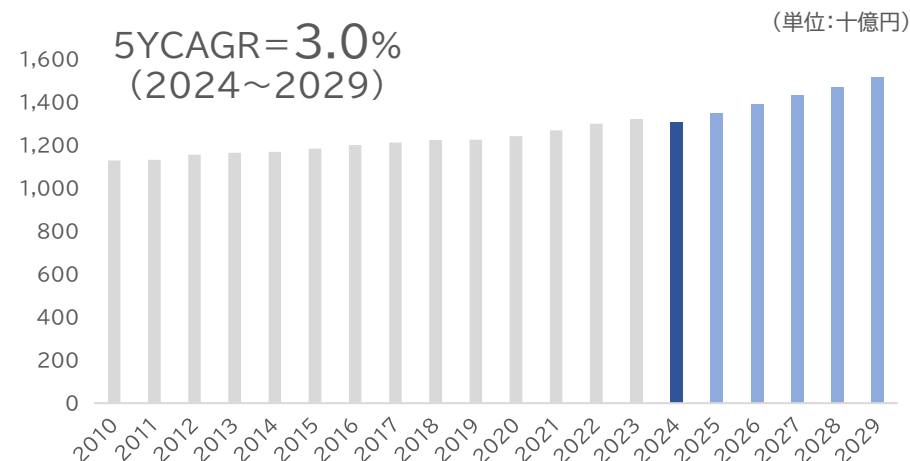
中国のサプリメント市場規模 4兆9,008億円(2024年小売額)



日本のスキンケア市場規模 1兆9,817億円(2024年小売額)



日本のサプリメント市場規模 1兆3,067億円(2024年小売額)



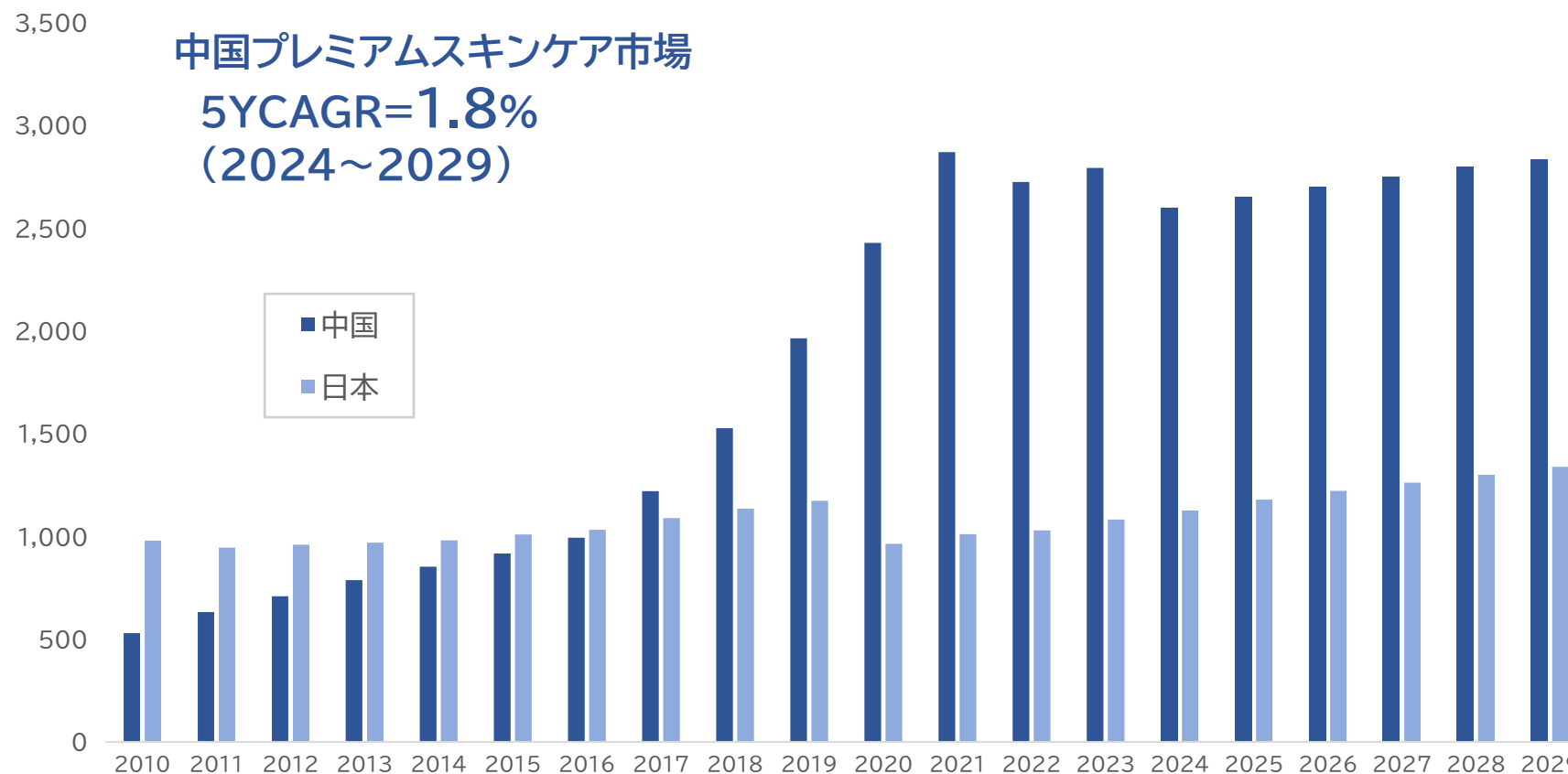
(出典: Euromonitor International Limited, Beauty and Personal Care 2024 edition, retail value RSP fixed 2024 exchange rates, current prices, data extracted on 8 August 2025)

(出典: Euromonitor International Limited, Consumer Health 2024 edition, retail value RSP, fixed 2024 exchange rates, current prices, data extracted on 8 August 2025)

【市場環境2】プレミアムスキンケア市場

中国・日本のプレミアムスキンケア市場

(単位:十億円)

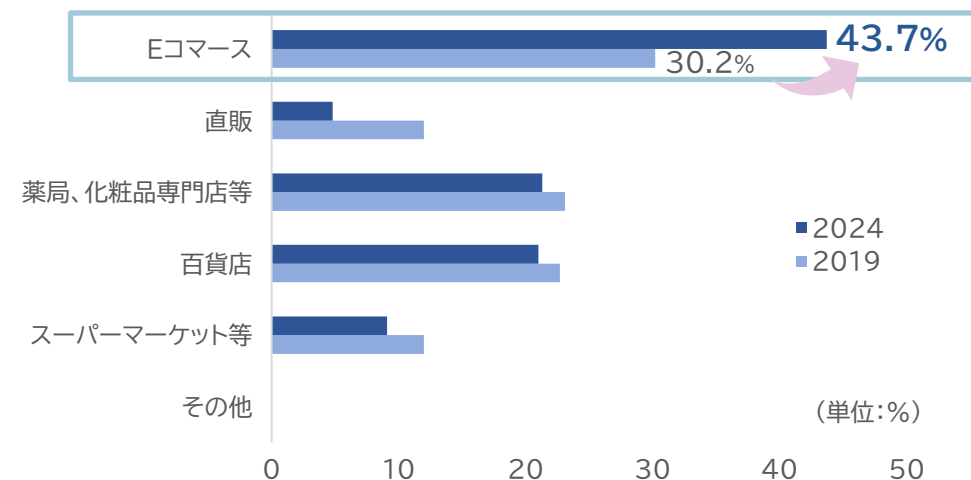


(出典: Euromonitor International Limited, Beauty and Personal Care 2024 edition, retail value RSP fixed 2024 exchange rates, current prices, data extracted of 7 August 2025)

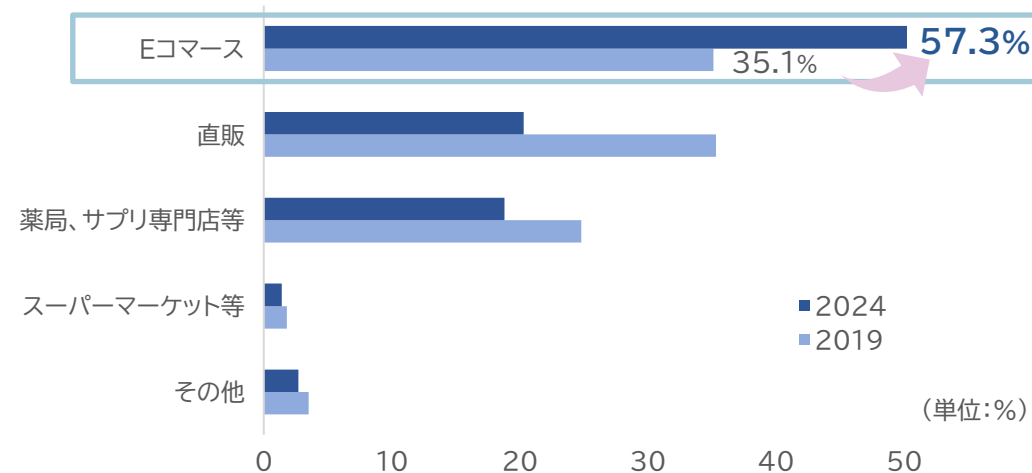
※ プレミアム=高価格帯化粧品。マスではなく、美意識が高く美容にかかるコストを惜しまない顧客向けの上級ライン。百貨店や直営店など店舗を限定しプレミアムチャネル向けと位置付けるシリーズ

【市場環境3】EC市場

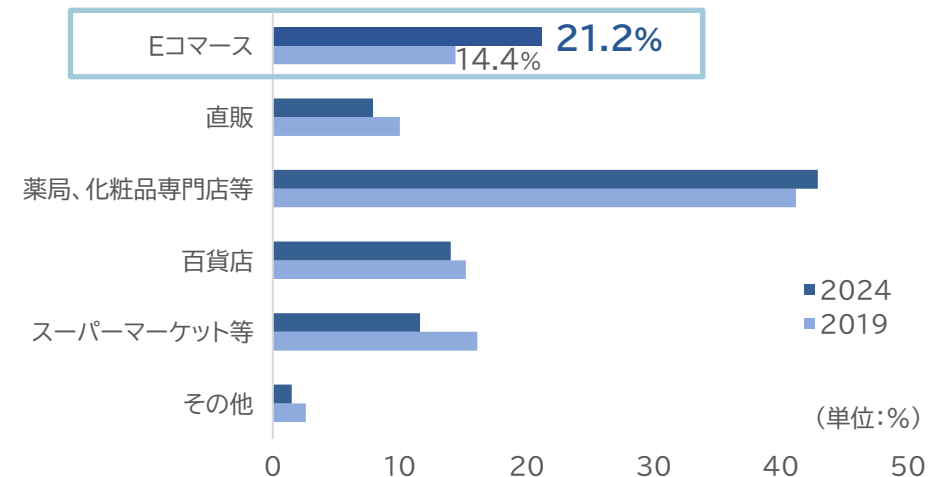
中国のスキンケア市場



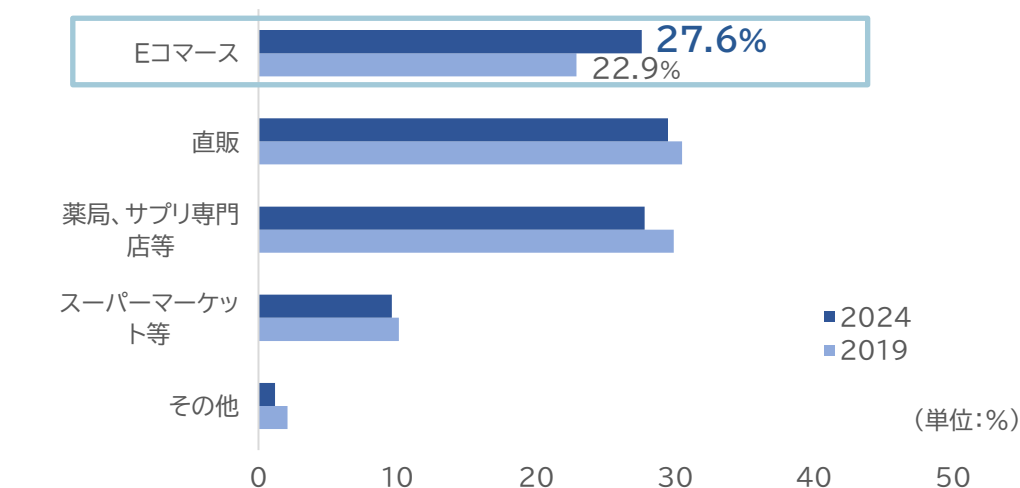
中国のサプリメント市場



日本のスキンケア市場



日本のサプリメント市場



(出典: Euromonitor International Limited, Skin Care 2024 edition, retail value RSP fixed 2024 exchange rates, current prices, data extracted on 14 August 2025)

(出典: Euromonitor International Limited, Consumer Health 2024 edition, retail value RSP, fixed 2024 exchange rates, current prices, data extracted on 14 August 2025)

		2021/7期	2022/7期	2023/7期	2024/7期	2025/7期
売上高	百万円	5,787	8,215	11,341	12,192	13,479
売上原価	百万円	1,712	1,994	2,397	2,581	3,561
販売費及び一般管理費	百万円	2,692	4,587	7,043	8,692	9,360
人件費	百万円	686	860	1,280	1,494	1,792
広告宣伝費	百万円	793	1,578	2,464	3,134	3,466
支払手数料	百万円	670	1,252	1,892	2,170	2,025
営業利益	百万円	1,383	1,633	1,899	918	557
経常利益	百万円	1,370	1,746	1,902	1,122	548
当期純利益	百万円	868	1,116	1,330	794	354
ROE	%	18.4	14.3	15.4	9.1	4.4
EPS	円	35.97	43.28	51.80	32.06	15.18
BPS	円	278.81	325.43	354.00	349.51	332.56
自己資本比率	%	87.0	83.5	83.2	80.9	79.2
配当金	円	0.00	0.00	14.00	20.00	10.00

シェアードリサーチ社による当社レポート

株式会社シェアードリサーチ発行の
アナリストレポートを開示しております。
投資判断のご参考に、是非ご覧ください。

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/4936>



IR公式Xアカウント

@axxzia_ir



個別のお問い合わせは右記
「お問い合わせ先」までお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社アクシージア（証券コード:4936）



公式HP : <https://axxzia.co.jp/ir/>

E-mail : axxzia-ir@axxzia.co.jp

免責事項および将来見通しに関する注意事項

- 本資料は当社の企業説明に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘する目的で提供されるものではありません。本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものでなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についても何ら補償するものではありません。
- 本資料ならびに本発表において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

A X X Z I A

Creating things and experiences
that amaze people.